

横浜市立大学附属病院麻酔科専門研修プログラム

1. 専門医制度の理念と専門医の使命

① 麻酔科専門医制度の理念

麻酔科専門医制度は、周術期の患者の生体管理を中心としつつ、そこから発展して集中治療、救急医療、疼痛・緩和医療などの領域もカバーしながら、患者の命を守り、安全で高品質な医療を提供できる麻酔科専門医を育成することで、国民の健康・福祉の増進に貢献する。

② 麻酔科専門医の使命

麻酔科専門医の使命は大きく2つある。

1つ目は、手術という治療目的の重度外傷に対するさまざまな生体反応をコントロールし、患者さんを守りながら手術を可能にするとともに、その侵襲からの生体の速やかな回復を支援することである。この目的のために、手術中の麻酔はもとより術前、術後にも、最高の技量と知識を使い、細心の注意を払って診療を行う。

2つ目は、周術期の専門知識と技量を応用し、集中治療、救急医療、ペインクリニック、緩和医療などの分野でも、国民のニーズに応じた高度医療を安全に提供することである。

2. 専門研修プログラムの概要と特徴

【概要】

横浜市立大学麻酔科は、神奈川県麻酔科医の半数近くが所属する麻酔科として、日本専門医機構の専門医制度開始より10年以上前から、教授の後藤が修了したアメリカの麻酔科レジデントプログラムを参考に、専門領域も含め、豊富な症例数を万遍なく経験できるよう、独自の教育プランを動かしてきた。2017年度の専門研修プログラムを作成するに当たっては、これまでの実績と経験に基づき、専攻医一人一人の希望も取り入れ、将来のさまざまな方向性に対応できるよう、これまで行ってきた教育プランのさらなるレベルアップを図った。

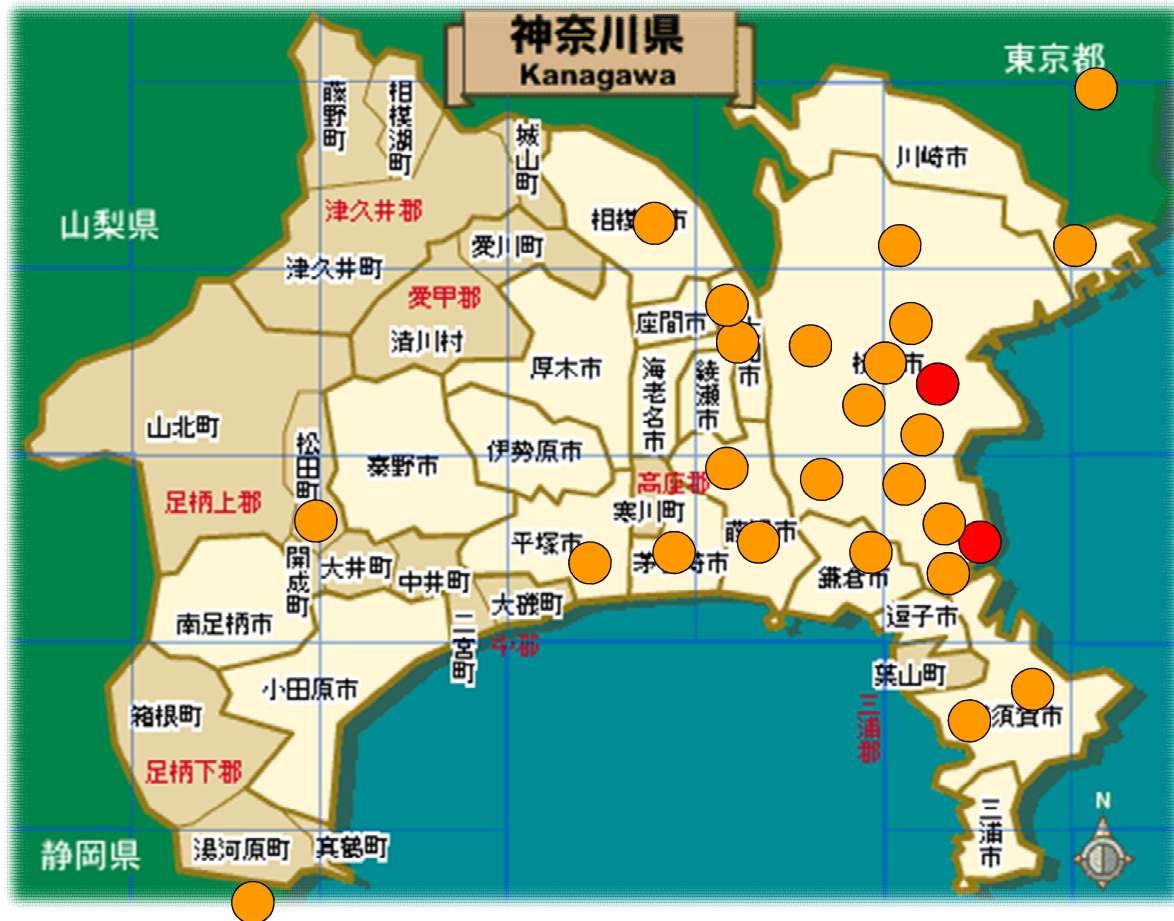
具体的には、

1. サブスペシャリティー領域を中心に病院群を充実させた。
2. ワークショップやハンズオン、カンファランスなど、教育的な活動を増加させ、高い水準の学習の機会が容易に得られるように配慮した。
3. 専門研修プログラム以降のサブスペシャリティー研修（フェローシップ）を充実させ、専門研修プログラム中に前倒しスタートできるようにした。
4. 臨床研究大学院を発足させ、臨床統計学を専門とする指導者も擁し、専門研修プログラム中から前倒しでスタートできるようにした。
5. 2017年度に新規発足する神奈川県立病院機構のプログラムと密接に連携し、神奈川県で研修したいが大学はちょっと……という専攻医にも配慮した。

なお、麻酔科専門研修プログラム全般に共通する研修内容の特徴などは、別途資料**麻酔科専攻医研修マニュアル**に記されている。

【特徴】

1. 神奈川県という、比較的狭い地域内で研修が完結できること。（連携病院は一部、県外にもあるが、勤務は必須ではない。）下図に、本プログラムの病院群を示す。赤丸は横浜市大附属病院および横浜市大附属市民総合医療センター。神奈川県外の連携病院は一部省略。



2. 希望者全員が小児病院と専属チームの管理するICU（クローズドICU）で研修できること
3. サブスペシャリティの研修施設が充実していること。例えば心臓血管外科麻酔は川崎幸病院、大和成和病院という神奈川県下で1，2を争う症例数を誇る病院や、日本最大の循環器専門施設である、国立循環器病研究センターと連携している。ペインの分野では、全国に20か所しかない集学的慢性痛管理センターが横浜市大附属市民総合医療センターにでき、世界最先端の治療を行っている。
4. 教育活動が手厚いこと。ご遺体を用いた神経ブロックや経食道心エコーの理解のための解剖学講習、麻酔下の豚を用いた神経ブロック、胸腔穿刺、外科的気道確保等の実技Wet Labや人工呼吸管理セミナー、ABCD Sonography（ベッドサイドで心、肺、気道などを素早く診察する超音波検査）などが毎年計画的に行われている。
プログラム全体のカンファレンスとしては、集中治療カンファレンスが概ね2か月に1回、心臓血管外科麻酔カンファレンスが概ね3か月に1回、麻酔全般の講演会が年2回開かれている。
その他、施設ごとに勉強会や文献抄読会を行っている。例えば基幹研修施設である横浜市立大学附属病院では、抄読会は朝週3回、専攻医向けレクチャーはほぼ毎日（昼食をとりながら）行っている。

3. 専門研修プログラムの運営方針

【基本的なローテーションの方針】

- 研修の前半2年間は、厚生労働省麻酔科標榜医の取得を目標とし、横浜市大附属病院および横浜市大附属市民総合医療センターと連携施設で、成人の心臓外科手術、脳神経外科、呼吸器外科、帝王切開を含む一般麻酔の修練を行う。専攻医の間で経験症例数（特に専門分野の麻酔の経験症例数）に大きなばらつきが出ないように、半年から一年で病院をローテーションする。
- 研修の前半2年間で、開胸術、開頭術、帝王切開術について、整備指針が求める最低症例数をクリアする。開心術についても2年目終了時での最低症例数クリアを目標とするが、開心術は難易度の高い症例が多く、2年目での完全習得が難しいため、一部、3年目と4年目に行う。
- 3年目はICUまたは三次救急の研修と、小児専門施設での小児麻酔の研修を、それぞれ3～6ヶ月ずつ行う。
- 4年目は、手術麻酔の経験をさらに積むコース、心臓血管外科麻酔、産科麻酔、小児麻酔、区域麻酔、ペインクリニック、ICUなどの麻酔科サブスペシャリティをさらに専攻するコース（フェローシップ）、臨床麻酔を行いながら、臨床研究に従事するコース等を希望に応じて研修する。これらのコースは、5年目以降も継続したカリキュラムを組んでいる。
- 研修内容・進行状況に配慮して、プログラムに所属する全ての専攻医が経験目標に必要な特殊麻酔症例数を達成できるように、ローテーションを構築する。

【労務管理】

- 勤務時間は、タイムカード等で施設毎に管理する。原則として、当直は月4回までで、当直明けはフリーとなっている。一部病院や集中治療部などでは、シフト制を導入している。
- 専攻医との面接およびアンケートによる聞き取りを、それぞれ最低年1回ずつは行い、心身の健康状態について問題がないか確認する。

【研修期間中にフルタイム勤務ができなくなった場合の対応】

- 出産、育児、その他の理由でフルタイム勤務ができなくなった場合、時間短縮勤務や当直免除等の配慮を、必要な期間を行う。ただし、当直免除や時間短縮勤務は、緊急手術や長時間大手術の経験が減ることから、研修効果を下げため、本来望ましくない。ICUも当直ができなければ、研修効果は著しく下がる。したがって専攻医は、各自の責任で、フルタイム勤務ができない時期をできるだけ短くする努力が求められる。
横浜市大麻酔科には、フルタイム勤務ができない人たちのグループがあり、勤務継続およびフルタイム復帰のためのノウハウを蓄積しているので、ぜひ利用していただきたい。
- 3年目までに出産や育児、その他の理由で時間短縮勤務等となり、専門分野の症例数が学会の要求数に足りない専攻医に関しては、4年目にそれらを補うプログラムを組む。4年目までの研修内容が不十分と判断される場合、研修終了を延期する。

【リサーチマインドおよび学術活動】

- 専攻医は、学会への症例報告はもとより、各施設で指導医の行う臨床研究に積極的に参加し、その成果を研究への貢献度に合わせて学会発表や学術雑誌への投稿を行うことを推奨する。**横浜市立大学麻酔科は、科研費の過去5年間の新規採択累積件数が平成27年度、28年度と2年連続で全国トップであり（文部科学省公開データ）、麻酔科学の研究が日本一盛んな大学である。**
- プログラムに参加する大多数の病院で、日本麻酔科学会学術集会中は手術数が絞られるので、専攻医は優先的に学会に参加できる。その他の学会にも積極的な参加を期待する。実績として、**ヨーロッパ麻酔学会には横浜市立大学から毎年10演題以上が採択され、専攻医も含めて多数参加している。**

【医療倫理等の研修計画】

- 専攻医は、配属先の病院で行われる医療倫理、医療安全、感染対策等の講演会やe-learningを受講することを推奨する。また、日本麻酔科学会をはじめとする学術集会で行われるこれらの講演会に積極的に参加することを推奨する。



<研修実施計画例>

	A (標準)	B (心臓麻酔)	C(小児)	D (集中治療)	E (ペイン)
初年度 前期	附属病院	附属病院	附属病院	附属病院	附属病院
初年度 後期	藤沢市民病院	横須賀共済病院	横浜市立市民病院	横浜労災病院	横浜南共済病院
2年度 前期	横浜市大附属市民総合医療センター	横浜市大附属市民総合医療センター	横須賀共済病院	横浜市大附属市民総合医療センター	横浜労災病院
2年度 後期	横浜市大附属市民総合医療センター	横浜市大附属市民総合医療センター	附属病院	横浜市大附属市民総合医療センター	附属病院
3年度 前期	神奈川県立こども医療センター	横浜市大附属市民総合医療センターICU	横浜市大附属市民総合医療センターICU	神奈川県立こども医療センター	横浜市大附属市民総合医療センターICU
3年度 後期	横浜市大附属市民総合医療センターICU	神奈川県立こども医療センター	神奈川県立こども医療センター	横浜市大附属市民総合医療センターICU	神奈川県立こども医療センター
4年度 前期	横浜市立市民病院	国立循環器病研究センター	神奈川県立こども医療センター	附属病院ICU	横浜市大附属市民総合医療センター (ペイン)
4年度 後期	横浜市立市民病院	国立循環器病研究センター	千葉県こども病院	附属病院ICU	横浜市大附属市民総合医療センター (ペイン)

<週間予定表>

横浜市立大学附属病院麻酔 ローテーションの例

	月	火	水	木	金	土	日
午前	手術室	遅出	手術室	手術室	手術室	休み	休み
午後	手術室	術前外来	手術室	休み	手術室	休み	休み
当直	残り番		当直				

- ・月～金の毎朝8時～8時30分 カンファレンス
- ・火、水、木の12時～12時30分、指導医によるレクチャー（昼食を摂りながら。）

4. 研修施設の指導体制と前年度麻酔科管理症例数

- 本研修プログラム全体における前年度合計麻酔科管理症例数：58,126症例

※群全体での麻酔科管理症例数116,411症例

- 本研修プログラム全体における総専門研修指導医：103人

本研修プログラム分	合計症例数
麻酔科管理全症例数	58,126
小児（6歳未満）の麻酔	2,837
帝王切開術の麻酔	1,992
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	1,820
胸部外科手術の麻酔	1,829
脳神経外科手術の麻酔	1,783

※小児の麻酔/心臓血管の麻酔については1症例2名まで申請が可能

① 専門研修基幹施設

公立大学法人 横浜市立大学附属病院（以下 横浜市立大学附属病院）

〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9 TEL：045-787-2918

（HP：<http://www.yokohama-cu.ac.jp/fukuhp/>）

研修プログラム統括責任者：後藤 隆久

専門研修指導医：後藤 隆久（麻酔）

専門医：松田 優子（麻酔）

水野 祐介（麻酔）

東條 健太郎（麻酔）

藤本 啓子（麻酔）

吉田 輔（集中治療）

菊池 龍明（医療安全・麻酔）

濱田 貴子（集中治療）

入江 友哉（麻酔・心臓麻酔）

西周 祐美（ペインクリニック・麻酔）

水原 敬洋（麻酔・臨床統計）

菊池 賢（麻酔）

岡村 健太（麻酔・心臓麻酔）

西村 祥一（麻酔・救急）

木下 充子（麻酔）

長嶺 祐介（麻酔・心臓麻酔）

柏木 静（麻酔）

藤本 寛子（麻酔）

大川 卓巳（麻酔）

入澤 朋子（麻酔）

北原 雅樹（ペインクリニック）

富永 陽介（ペインクリニック・麻酔）

土屋 智徳（ペインクリニック・麻酔）

山口 修（集中治療）

高木 俊介（集中治療・救急）

横瀬 真志（集中治療・心臓麻酔）

山口 嘉一（集中治療）

菅原 陽（麻酔・集中治療）

朝倉 彩子（麻酔）

玉田 尚（麻酔・救急）



*72 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例：4652症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	117
帝王切開術の麻酔	90
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	81
胸部外科手術の麻酔	118
脳神経外科手術の麻酔	173

特徴：大学病院本院にふさわしい大手術や、状態の悪い患者が多く、麻酔科医としてチャレンジングな症例を多く経験できる。神経ブロックも積極的に行っている。集中治療部は麻酔科の専属チームが常駐。臨床研究にも力を入れ、ヨーロッパ麻酔学会に毎年複数の演題を出している。手術室から東京湾が見え、近隣には八景島があるなど、最高の環境である。

② 専門研修連携施設A

公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター

(以下 横浜市立大学附属市民総合医療センター)

〒232-0024 横浜市南区浦舟4-57 TEL：045-253-5355

(URL：<http://www.yokohama-cu.ac.jp/urahp/>)

研修実施責任者 佐藤 仁

専門研修指導医：佐藤 仁（麻酔・救急）

川上 裕理（麻酔・心臓麻酔）

菅原 泰常（麻酔）

田澤 利治（緩和ケア・ペインクリニック）

水谷 健司（麻酔）

大塚 将秀（集中治療）

刈谷 隆之（集中治療）

内本 一宏（集中治療）

宮崎 敦（麻酔・心臓麻酔）

専門医：増渕 哲仁（麻酔・心臓麻酔）

美濃口 和洋（麻酔）

岡部 雪子（麻酔）

高橋 沙緒梨（麻酔）

桜井 龍（麻酔・心臓麻酔）

遠藤 大（麻酔）

藤井 ありさ（麻酔）

青木 真理子（集中治療・麻酔）

出井 真史（集中治療・麻酔）

横山 暢幸（集中治療・麻酔）

小倉 玲美（集中治療・麻酔）



特徴：3次救命救急センターと神奈川県総合周産期センターの指定を受ける、横浜市中心部の大学附属病院で、救急、周産期、循環器の症例が多い。ハイブリッド手術室をもち、TAVIも行っている。ここの集中治療部も麻酔科医の専属チームが常駐。2017年に集学的慢性痛センターを設置。

*593 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例：5318症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	109
帝王切開術の麻酔	292
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	160
胸部外科手術の麻酔	167
脳神経外科手術の麻酔	107

国立研究開発法人 国立循環器病研究センター

(以下、国立循環器病研究センター)

〒565-0873 大阪府吹田市藤白台5-7-1 TEL：06-6833-5012

(URL：<http://www.ncvc.go.jp/>)

研修実施責任者：大西 佳彦

専門研修指導医：大西 佳彦 (心臓麻酔、経食道心エコー)

吉谷 健司 (心臓麻酔、脳外科麻酔)

金澤 裕子 (心臓麻酔、経食道心エコー)

専門医：加藤真也

佐々木誠

前田琢磨

住吉美穂

南 公人

特徴：心臓大血管手術の症例数が多いこと。

脳血管外科手術症例、産科症例が多くあること。

成人心臓外科手術では弁手術、冠動脈バイパス術が多い。

小切開手術、ロボット手術、TAVI、LVAD 装着手術、心臓移植もある。

血管外科手術では胸腹部大動脈置換手術、弓部大動脈置換手術が多い。

腹部大動脈手術、ステント手術、David 手術も多い。

小児心臓外科では新生児から成人先天性手術まで幅広く手術をおこなっている。

新生児姑息術も多い。

脳外科手術ではバイパス手術、カテーテルインターベンションが多くある。

内頸動脈内膜剥離術やクリッピングも多い。

帝王切開手術では、先天性心疾患や肺高血圧などを合併した妊婦の管理がある。

※日本一の心臓血管外科の症例数を誇る病院。LVAD、TAVI、心臓移植など最先端の医療も数多く行っている。本プログラムでは、4 年目以降に心臓血管外科を専門にしたい人の研修先としている。

*168 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 2402症例

	本プログラム分
小児(6歳未満)の麻酔	33
帝王切開術の麻酔	17
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	153
胸部外科手術の麻酔	0
脳神経外科手術の麻酔	61



国立研究開発法人国立成育医療研究センター（以下、国立成育医療研究センター）

〒157-0074 東京都世田谷区大蔵2-10-1 TEL：03-3416-0181

(URL: <http://www.ncchd.go.jp/>)

研修実施責任者：鈴木 康之

特徴：小児医療の日本の中心。

専門研修指導医：鈴木 康之（麻酔/集中治療）

肝臓移植など、この病院ならではの先進医療も行う。

田村 高子（麻酔/緩和医療）

糟谷 周吾（麻酔）

佐藤 正規（麻酔）

遠山 悟史（麻酔）

蜷川 純（麻酔）

*87 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 5164症例



	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	150
帝王切開術の麻酔	20
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	10
胸部外科手術の麻酔	5
脳神経外科手術の麻酔	10

地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立こども医療センター

（以下、神奈川県立こども医療センター）

〒232-0066 神奈川県横浜市南区六ツ川2-138-4 TEL：045-711-2351

(URL: <http://kcmc.kanagawa-pho.jp/>)

研修実施責任者：何 廣頤

専門研修指導医：何 廣頤（小児麻酔/心臓麻酔）

宮本 義久（小児麻酔/心臓麻酔）

堀木 としみ（緩和ケア/小児麻酔）

蜂屋 好子（小児麻酔/心臓麻酔）

山口 恭子（小児麻酔/心臓麻酔）

中村 信人（小児麻酔/心臓麻酔）

専門医：駒崎 真矢（小児麻酔）

小幡 向平（麻酔/小児麻酔）

浅見 優（麻酔/小児麻酔）

特徴：全科が有り、症例は豊富です。他科との連携・関係も良好で働きやすい。

小児ICUも研修可能（2012年にICU専門医が来ました。）

基本的にはオープンですので、小児に興味がある方は見学いつでも可能です。こどもはかわいいですよ。

*88 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 3398症例



	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	1350
帝王切開術の麻酔	138
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	133
胸部外科手術の麻酔	65
脳神経外科手術の麻酔	76

国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院（以下、横須賀共済病院）

〒238-0011 神奈川県横須賀市米が浜通1丁目16 TEL:046-822-2710

(URL : <http://www.ykh.gr.jp/>)

研修実施責任者：住友 正和

専門研修指導医：住友 正和（麻酔）

川崎 理栄子（麻酔）

山崎 諭（麻酔）

小橋 帝生（麻酔）

大田 まりあ（麻酔）

坂本 彩加（麻酔）

中易 夏子（心臓麻酔）

特徴：三浦半島の基幹病院。心臓血管外科が強化された。

*616 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 5404症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	37
帝王切開術の麻酔	133
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	116
胸部外科手術の麻酔	163
脳神経外科手術の麻酔	282



独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター（以下、横浜医療センター）

〒245-8575 神奈川県横浜市 戸塚区原宿3-60-2 TEL:045-851-2621

(URL : <http://www.yokohama-mc.jp/>)

研修実施責任者：大野 博和

専門研修指導医：大野 博和（麻酔）

鈴木 宏昌（麻酔）

山田 宏（麻酔）

古谷 良輔（救急）

宮崎 弘志（集中治療科）

小川 賢一（ペインクリニック）

内藤 梨奈（麻酔）

若山 洋美（麻酔）

専門医：早川 翔（麻酔）

特徴：横浜市西部の中核病院。成人症例の麻酔であれば大部分の領域を経験可能です。緊急手術は可能な限り申込当日に手術を行うようにしており、その麻酔前評価に心エコーやDVTエコーなどを麻酔科医が自ら行えるようにしています。緩和ケアの経験も可能。

*1300 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 3312症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	28
帝王切開術の麻酔	143
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	49
胸部外科手術の麻酔	52
脳神経外科手術の麻酔	186



独立行政法人 労働者健康福祉機構 横浜労災病院（以下、横浜労災病院）

〒222-0036 神奈川県横浜市 港北区小机町3-2-1 1045-474-8111

(URL : <http://www.yokohamah.rofuku.go.jp/>)

研修実施責任者：越後 憲之

専門研修指導医：越後 憲之（麻醉）

曾我 広太（麻醉）

西澤 英雄（集中治療/麻醉）

野崎 藤章（麻醉）

岩倉 秀雅（麻醉）

藤本 潤一（集中治療/麻醉）

高杉 直哉（麻醉）

甘利 奈央（麻醉）

専門医：七尾 大観（集中治療/救急）

吉田 恵（麻醉）

大和田 玄（集中治療/麻醉）

*604 研修委員会認定病院取得

*施設麻醉科管理症例 4915症例

特徴：横浜労災病院は約 5000 件の麻醉科管理症例に対して 13 名の専門医が在籍しています。手術は多岐にわたり、充実しています。また、救命救急センターや集中治療室併設し、急性期に特化した病院となっています。

初期研修医は全国から集まり、多くの診療科をローテーションするため、どの診療科でも活気に満ち溢れ、好循環をもたらしています。

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻醉	108
帝王切開術の麻醉	173
心臓血管手術の麻醉 （胸部大動脈手術を含む）	67
胸部外科手術の麻醉	155
脳神経外科手術の麻醉	117

横須賀市立市民病院

〒240-0195 神奈川県横須賀市長坂1丁目3-2 TEL：046-856-3136

(URL : <http://www.jadecom.or.jp/jadecomhp/yokosuka-shimin/html/>)

研修実施責任者：北村 俊治

専門研修指導医：野瀬 浩文（麻醉）

北村 俊治（麻醉）

特徴：三浦半島西海岸地区の地域医療の中心病院

*453 研修委員会認定病院取得

*施設麻醉科管理症例 1491症例



	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻醉	1
帝王切開術の麻醉	0
心臓血管手術の麻醉 （胸部大動脈手術を含む）	0
胸部外科手術の麻醉	0
脳神経外科手術の麻醉	6

恩賜財団 済生会 横浜市南部病院（以下、横浜市南部病院）

〒234-0054 神奈川県横浜市港南区港南台3丁目2-10 TEL：045-832-1111

(URL：<http://www.nanbu.saiseikai.or.jp/>)

研修実施責任者：西濱 雅充

専門研修指導医：西濱 雅充（麻酔）

後藤 正美（麻酔）

横山 香織（麻酔）

平井 明子（麻酔）

永井 絵里（麻酔）

専門医：野本 万祐子（麻酔）

福地 萌香（麻酔）



*361 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 3698症例

特徴：市中病院として外科系診療科が11科あり、多種多様な術式の麻酔経験が出来る。

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	40
帝王切開術の麻酔	158
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	47
胸部外科手術の麻酔	60
脳神経外科手術の麻酔	45

社会福祉法人聖隷福祉事業団 聖隷横浜病院（以下、聖隷横浜病院）

〒240-0023 神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩井町215 TEL：045-715-3111

(URL：<http://www.seirei.or.jp/yokohama/>)

研修実施責任者：木下 真弓

専門研修指導医：木下 真弓（麻酔・ペイン）

千葉 桃子（麻酔）

佐藤 理恵（麻酔）

大杉 枝里子（麻酔）

佐藤 恵子（麻酔）

専門医：川名 由貴（麻酔）

特徴：横浜市西部の、急性期から緩和まで幅広く行う病院。一般麻酔も行っていますが、ペインクリニック、緩和ケアを麻酔科で外来及び入院患者を持って神経ブロックや疼痛管理を行うことができる。

*1325 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 994症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	16
帝王切開術の麻酔	0
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	0
胸部外科手術の麻酔	27
脳神経外科手術の麻酔	17



横浜市立脳卒中・神経脊椎センター（以下、脳卒中・神経脊椎センター）

〒235-0012 神奈川県横浜市 磯子区滝頭1丁目2-1 tel:045-753-2500

(URL : <http://www.city.yokohama.lg.jp/byoin/nou/>)

研修実施責任者：坂井 誠

専門研修指導医：坂井誠（麻醉）

石和大（麻醉）

工藤一大（麻醉）

高橋均（麻醉）

特徴：脳卒中急性期から回復リハビリ
期までの専門病院。

*1705 研修委員会認定病院取得

*施設麻醉科管理症例 555症例



	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻醉	0
帝王切開術の麻醉	0
心臓血管手術の麻醉 （胸部大動脈手術を含む）	0
胸部外科手術の麻醉	0
脳神経外科手術の麻醉	155

地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター

（以下、神奈川県立ガンセンター）

〒241-0815 神奈川県横浜市旭区中尾2-3-2 TEL：045-520-2222

(URL : <http://kcch.kanagawa-pho.jp/>)

研修実施責任者：藤田 久栄

専門研修指導医：藤田 久栄（麻醉）

宮下 徹也（麻醉）

高野 修身（麻醉，集中治療）

佐々木 俊郎（麻醉）

小林 浩子（麻醉）

松尾 慶子（麻醉）

太田 周平（緩和医療）

近藤 菜穂子（麻醉）

専門医：加治 真由（麻醉）

秋元 香南（麻醉）

特徴：神奈川県のがん診療の拠点病院であり、胸部手症例が豊富。指導者層が厚くていねいな指導が行えます。緩和ケアの研修も可能。

*242 研修委員会認定病院取得

*施設麻醉科管理症例 3144症例



	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻醉	0
帝王切開術の麻醉	0
心臓血管手術の麻醉 （胸部大動脈手術を含む）	0
胸部外科手術の麻醉	193
脳神経外科手術の麻醉	23

国際医療福祉大学 熱海病院（以下、熱海病院）

〒413-0012 静岡県熱海市東海岸町1-3-1 TEL:0557-81-9171

(URL : <http://atami.uhw.ac.jp/>)

研修実施責任者：伊藤 英基

専門研修指導医：伊藤 英基（麻醉）

鈴木 富美子（麻醉）

辻 和馬（麻醉）



特徴：静岡県熱海市の中核病院。

地域医療に対する理解を深めることができる。症例は腎移植が比較的多く、全国でも珍しい内臓の肉腫手術がある。

*1177 研修委員会認定病院取得

*施設麻醉科管理症例 1156症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻醉	4
帝王切開術の麻醉	36
心臓血管手術の麻醉 （胸部大動脈手術を含む）	0
胸部外科手術の麻醉	21
脳神経外科手術の麻醉	37

財団法人同友会 藤沢湘南台病院（以下、藤沢湘南台病院）

〒252-0802 神奈川県藤沢市高倉2-3-4-5 TEL : 0466-44-1451

(URL : <http://www.fj-shonandai.jp/>)

研修実施責任者：原田 高志

専門研修指導医：原田 高志（麻醉）

浅田 美恵子（麻醉）

井上 基樹（麻醉）

岡田 律子（ペインクリニック）

工藤 真里（麻醉）

櫻井 亜沙子（麻醉）

西川 晴子（麻醉）

専門医：宮下 仁子（麻醉）



特徴：藤沢市の私立中堅病院。

先進的な経営スタイルに特徴がある。病床数あたりの麻醉科管理手術件数としては、関連病院の中でも多い。スタッフは8人その内6人は指導医で充実した指導が受けられます。

*1093 研修委員会認定病院取得

*施設麻醉科管理症例 2629症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻醉	5
帝王切開術の麻醉	0
心臓血管手術の麻醉 （胸部大動脈手術を含む）	0
胸部外科手術の麻醉	47
脳神経外科手術の麻醉	0

医療法人社団 公仁会 大和成和病院 (以下、大和成和病院)

〒242-0006 神奈川県大和市南林間 9-8-2 TEL : 046-278-3911

(URL : <http://www.fureai-g.or.jp/seiwa/index.html>)

研修実施責任者：米谷 聡

専門研修指導医：米谷 聡 (麻酔/集中治療) 専門医：松尾 史郎
池崎 弘之 (麻酔/集中治療) 桑原 大輔

特徴：成人心臓血管外科手術の麻酔と、ICU 術後管理を経験、
学ぶことができます。

* 1197 研修委員会認定病院取得

* 施設麻酔科管理症例 558症例

	本プログラム分
小児(6歳未満)の麻酔	0
帝王切開術の麻酔	0
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	376
胸部外科手術の麻酔	0
脳神経外科手術の麻酔	0



埼玉県立小児医療センター

〒339-8551 埼玉県さいたま市岩槻区大字馬込 2100 番地 TEL : 048-758-1811
(URL : <https://www.pref.saitama.lg.jp/scm-c/>)

研修実施責任者：蔵谷 紀文

専門研修指導医：蔵谷 紀文 (麻酔・小児麻酔)

濱屋 和泉 (麻酔・小児麻酔)

佐々木 麻美子 (麻酔・小児麻酔)

釜田 峰都 (麻酔・小児麻酔)

特徴： Boston 小児病院で研修した麻酔科部長が指導してくれる病院。平成 28 年 12 月より施設新設。

* 399 研修委員会認定病院取得

* 施設麻酔科管理症例 2527 症例



	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	100
帝王切開術の麻酔	0
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	1
胸部外科手術の麻酔	0
脳神経外科手術の麻酔	1

③ 専門研修連携施設 B

横浜市立市民病院

〒240-0061 神奈川県横浜市 保土ヶ谷区岡沢町 56 TEL：045-331-1961

(URL：<http://yokohama-shiminhosp.jp/>)

研修実施責任者：伊奈川 岳
 専門研修指導医：伊奈川 岳（麻醉）
 速水 元（集中治療・麻醉）
 佐藤 大樹（麻醉）
 坪井 さやか（麻醉）
 専門医：柏木 里恵子（麻醉）
 日暮 亜矢（麻醉）
 野村 友紀子（麻醉）
 幸野 真樹（麻醉）
 土岐 圭伊子（麻醉）

特徴：横浜市の中心部に位置する地域中核病院。

救命センターをはじめとし多くの診療科を持ち
 幅広い疾患に対する研修ができる。炎症性腸疾患科
 を有しクローン病・潰瘍性大腸炎患者の手術も多い。

* 596 研修委員会認定病院取得
 *施設麻醉科管理症例 4506症例



	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻醉	33
帝王切開術の麻醉	230
心臓血管手術の麻醉 （胸部大動脈手術を含む）	64
胸部外科手術の麻醉	186
脳神経外科手術の麻醉	55

国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院（以下、横浜南共済病院）

〒236-0037 神奈川県横浜市金沢区六浦東 1-21-1 TEL: 045-782-2101

(URL：<http://www.minamikyousai.jp/>)

研修実施責任者：渡辺 至

専門研修指導医：渡辺 至（麻醉）
 高寺 恭子（麻醉）
 専門医：柳 大介（麻醉）
 末竹 荘八郎（麻醉）
 横瀬 千枝（麻醉）
 吉田 理恵（麻醉）
 辻 匠子（麻醉）

特徴：区域麻醉に特に力を入れ、
 年間 1000 例に及ぶ神経ブロックを
 こなす。

患者さまのニーズに応えた
 安全で良質な医療を提供するために



* 377 研修委員会認定病院取得
 *施設麻醉科管理症例 4468症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻醉	40
帝王切開術の麻醉	115
心臓血管手術の麻醉 （胸部大動脈手術を含む）	40
胸部外科手術の麻醉	55
脳神経外科手術の麻醉	63

藤沢市民病院

〒251-8550 神奈川県藤沢市藤沢 2-6-1 TEL : 0466-25-3111 (代表)

(URL : <http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/hospital/>)

研修実施責任者：近藤 達也

専門研修指導医：近藤 竜也 (麻酔)

佐伯 美奈子 (麻酔・ペイン)

中橋 勇典 (麻酔・ペイン)

専門医：山口 佳子 (麻酔)

前島 英恵 (麻酔)

横井 礼子 (麻酔)



藤沢市民病院は地域の皆さまから信頼され、
選ばれる病院をめざします。



*219 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 3515症例

特徴： 地域の中核病院として、外傷性疾患も多く集まり、特に整形外科領域では、超音波ガイド下末梢神経ブロックを多く取り入れ、早期離床、入院期間の短縮化に努めています。ペインクリニックも常設し、大学と連携しペインクリニックを指導できる人材の教育を目指しています。

	本プログラム分
小児 (6歳未満) の麻酔	80
帝王切開術の麻酔	143
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	82
胸部外科手術の麻酔	68
脳神経外科手術の麻酔	107

国家公務員共済組合連合会 平塚共済病院 (以下、平塚共済病院)

〒254-8502 神奈川県平塚市 追分 9-11 TEL : 0463-32-1950

(URL : <http://www.kkr.hiratsuka.kanagawa.jp/>)

研修実施責任者：渡辺 美佳

専門研修指導医：渡辺 美佳 (麻酔)

三上 敦子 (麻酔)

専門医：吉岡 征夫 (麻酔)

船越 裕美 (麻酔)

特徴： 平塚市の中核病院で、心臓血管外科症例が多い。

*652 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 2074症例



	本プログラム分
小児 (6歳未満) の麻酔	28
帝王切開術の麻酔	0
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	78
胸部外科手術の麻酔	75
脳神経外科手術の麻酔	125

茅ヶ崎市立病院

〒253-0042 神奈川県茅ヶ崎市本村5丁目15-1 TEL：0467-52-1111

(URL：<http://hosp.city.chigasaki.kanagawa.jp/>)

研修実施責任者：福山 宏

専門研修指導医：福山 宏 (麻酔)

専門医：岩岡 由紀子 (麻酔)

特徴：茅ヶ崎市の中核病院で、地域医療に対する理解を深めることができる。
集中治療のローテーション可。

*406 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 2167症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	54
帝王切開術の麻酔	159
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	0
胸部外科手術の麻酔	72
脳神経外科手術の麻酔	22



大和市立病院

〒242-0018 神奈川県大和市深見西8丁目3-6 TEL：046-260-0111

(URL：<http://www.yamatocity-mh.jp/>)

研修実施責任者：金子 満久

専門研修指導医：金子 満久 (麻酔)

伊東 良治 (麻酔)

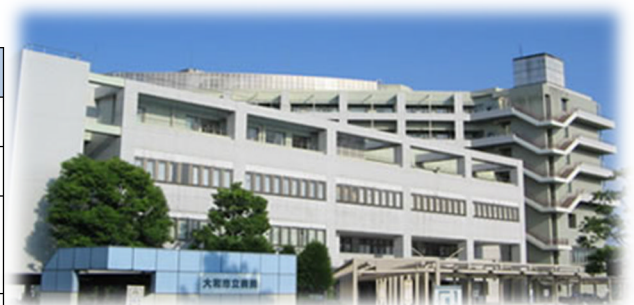
専門医：吉竹 恵理 (麻酔)

特徴：大和市の中核病院で、地域医療に対する理解を深めることができる。
産婦人科症例の多い病院。末梢側の血管、血管内手術が増加している。

*500 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 2474症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	28
帝王切開術の麻酔	116
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	0
胸部外科手術の麻酔	39
脳神経外科手術の麻酔	11



地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立足柄上病院

(以下、足柄上病院)

〒258-0003 神奈川県足柄上郡松田町松田惣領866-1 TEL:0465-83-0351

(URL : <http://ashigarakami.kanagawa-pho.jp/>)

研修実施責任者： 大塚 立夫

専門研修指導医： 大塚 立夫 (麻酔)

専門医： 山本 淑子 (麻酔)

特徴：神奈川県西部の地域医療を担う病院。地域医療に対する理解を深めることができる。

*369 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 1061症例

	本プログラム分
小児(6歳未満)の麻酔	1
帝王切開術の麻酔	4
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	0
胸部外科手術の麻酔	4
脳神経外科手術の麻酔	9



千葉県こども病院

〒266-0007 千葉県千葉市緑区辺田町579-1 TEL : 043-292-2111

(URL : <http://www.pref.chiba.lg.jp/kodomo/>)

研修実施責任者： 内田 整

専門研修指導医： 内田 整 (麻酔・集中治療・モニタリング・心臓麻酔)

原 真理子 (麻酔/集中治療, 小児麻酔)

専門医： 岩山 香坂 (麻酔・集中治療)

佐藤 慎 (麻酔・集中治療)

特徴：千葉県の小児医療の中心施設。

小児のTIVA(全静脈麻酔)を盛んに行っている。

臨床研究にも力を入れている。

*521 研修委員会認定病院取得

*施設施設麻酔科管理症例 1915症例

	本プログラム分
小児(6歳未満)の麻酔	300
帝王切開術の麻酔	0
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	40
胸部外科手術の麻酔	0
脳神経外科手術の麻酔	30



地方独立行政法人静岡県立病院機構 静岡県立こども病院

(以下、静岡県立こども病院)

〒420-8660 静岡県静岡市葵区漆山 860 TEL : 054-247-6251

(URL : <http://www.shizuoka-pho.jp/kodomo/>)

研修実施責任者：奥山 克巳

専門研修指導医：奥山 克巳（麻酔・小児麻酔）

梶田 博史（麻酔・小児麻酔）

特徴： 静岡県の小児医療の中心施設。

* 183 研修委員会認定病院取得

* 施設麻酔科管理症例 2835症例



	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	150
帝王切開術の麻酔	15
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	30
胸部外科手術の麻酔	1
脳神経外科手術の麻酔	20

社会医療法人財団石心会 川崎幸病院（以下、川崎幸病院）

〒212-0014 神奈川県川崎市 幸区大宮町 31-27 TEL:044-544-4611

(URL : <http://saiwaihp.jp/>)

研修実施責任者：高山 渉

専門研修指導医：高山 渉（麻酔・心臓麻酔）

専門医：梶谷 美砂（麻酔・心臓麻酔）

迫田 厚志（麻酔・心臓麻酔）

片山 直彦（麻酔・心臓麻酔）

須貝 隆之（麻酔・心臓麻酔）

関川 浩樹（麻酔・心臓麻酔）

特徴：全国でも TOP の件数の胸部・胸腹部大動脈手術実施実績があり、麻酔科専門医育成の上では、多くの心臓血管外科手術の麻酔を経験できることが最大の特徴である。特に胸腹部大動脈瘤手術を数多く経験できる施設は多くは存在しない。胸腹部大動脈瘤手術に加え、緊急手術も多く、管理にも多様なバリエーションがあり、専門医教育施設として今後も発展できると考えています。

*1480 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 4055症例



医療法人沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院（以下、湘南鎌倉総合病院）

〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本1370-1 TEL：0467-46-1717

(URL：https://www.shonankamakura.or.jp/)

研修実施責任者：小出 康弘

専門研修指導医：小出 康弘（心臓麻酔）

野見山 延（麻酔）

渡辺 桂（麻酔）

佐多 奈歩（麻酔）

石橋 美智子（麻酔）

相野田 桂子（麻酔）

小澤 寛子（麻酔）

- 特徴：**
1. 豊富な手術件数とバランスのとれた手術内容
 2. 低侵襲カテーテル手術への積極的関与（TAVI, Mitral Clip, 左心耳閉鎖）
 3. 緊急手術が豊富で術中管理から術後ICU管理まで経験できる

*1 436 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 5239症例



	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	0
帝王切開術の麻酔	0
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	100
胸部外科手術の麻酔	0
脳神経外科手術の麻酔	0

東日本電信電話株式会社 NTT 東日本関東病院（以下、NTT 東日本関東病院）

〒141-0022 東京都品川区東五反田5-9-22 TEL：03-3448-6111

(URL：https://www.ntt-east.co.jp/kmc/)

研修実施責任者：安部 洋一郎（ペインクリニック科）

専門研修指導医：安部 洋一郎（ペイン）

特徴：本プログラムでは、ペインクリニックの研修を行う。

神経ブロックによるペインクリニック診療で、日本一の症例数を誇る病院。

*35 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 3260症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	0
帝王切開術の麻酔	0
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	0
胸部外科手術の麻酔	0
脳神経外科手術の麻酔	0



順天堂大学医学部附属順天堂医院（以下、順天堂医院）

〒113-0033 東京都文京区本郷3-1-3 TEL：03-3813-3111
(URL：<http://www.juntendo.ac.jp/hospital/>)

研修実施責任者：稲田 英一

専門研修指導医：稲田英一

西村欣也（小児麻酔）

林田真和（心臓血管外科麻酔）

井関雅子（ペインクリニック、緩和ケア）

佐藤大三（麻酔全般、集中治療）

角倉弘行（産科麻酔）

水野 樹

石川晴士（胸部外科麻酔）

三高千恵子（集中治療）

川越いづみ（呼吸器外科麻酔）

竹内和世

原 厚子（脳神経外科麻酔）

工藤 治

千葉聡子（ペインクリニック）

山本牧子（心臓血管外科麻酔）

玉川隆生（ペインクリニック）

専門医：篠原 仁（ペインクリニック）

河合愛子（ペインクリニック）

石井智子（ペインクリニック）

掛水真帆（心臓血管外科麻酔）

井上理恵（産科麻酔）

堺 結有（産科麻酔）

岡原祥子

北村 絢

特徴：手術麻酔全般のほか、ペインクリニック、緩和ケア、集中治療のローテーションも可能である。
※本プログラムでは、産科麻酔の研修を行う病院。この分野の先駆けとして全国的に有名な、角倉弘行教授の指導が受けられる。



*1 2 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例 9937症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	25
帝王切開術の麻酔	10
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	25
胸部外科手術の麻酔	0
脳神経外科手術の麻酔	25

東京女子医科大学病院

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1 TEL : 03-3353-8111

(URL : <http://www.twmu.ac.jp/info-twmu/index.html>)

研修実施担当者：野村 岳志
 施設統括管理者：野村 実
 専門研修指導医：野村 実（麻醉）

専門医：伊藤 祥子（麻醉）
 権田 希望（麻醉）
 金森 理絵（麻醉）
 佐藤 麻衣子（麻醉）
 古井 郁恵（麻醉）
 永井 美玲（麻醉）
 丸山 恵梨香（麻醉）
 福島 里沙（麻醉）

大澤 由佳（麻醉）
 神谷 雅（麻醉）
 梁木 理史（麻醉）
 山本 英一郎（麻醉）
 一丸 達郎（麻醉）
 加藤 孝子（麻醉）
 駒山 徳明（麻醉）
 中島 慶子（麻醉）
 福井 公哉（麻醉、集中治療）

尾崎 眞（麻醉、集中治療）
 野村 岳志（集中治療）
 樋口 秀行（麻醉、ペインクリニック）
 尾崎 恭子（麻醉）
 黒川 智（麻醉）
 深田 智子（麻醉）
 岩出 宗代（麻醉、ペインクリニック）
 高木 俊一（麻醉、ペインクリニック）
 近藤 泉（麻醉）
 横川 すみれ（麻醉）
 濱田 啓子（麻醉）
 庄司 詩保子（麻醉）
 清野 雄介（麻醉、集中治療）
 虻川 有香子（麻醉）
 岩田 志保子（麻醉）
 山縣 克之（麻醉、ペインクリニック）
 畔柳 綾（麻醉、ペインクリニック）
 鎌田 ことえ（麻醉）
 佐藤 暢夫（麻醉、集中治療）
 糟谷 祐輔（麻醉）
 佐久間 潮里（麻醉）
 土井 健司（麻醉）
 中澤 圭介（麻醉）
 石川 淳哉（集中治療）

特徴：東京女子医科大学集中治療科は2017年4月に病棟再編にあわせて新設され、集中治療室（ICU）18床と高度治療室（HCU）15床での治療をサポートしております。当院で行われる侵襲の大きな手術をうける患者さん、多様な臓器移植術後の患者さん、成人先天性心疾患など複雑な既往・合併症を有する患者さんなどの手術後管理、また治療中に発症した重症肺炎や敗血症など重症臓器障害の患者さんの集学的治療を麻醉科はじめ多くの診療科と協力して行っております。日々変化する患者さんの病態を毎朝行う多職種カンファレンスで検討し、治療計画を決定しております。集中治療室での技術的な研修のほか超音波診断、感染症治療など始めとして多彩な研修が行えます。また他大学・病院とのネットカンファレンスなども行っており有用な研修が行える環境を作っています。

*32 研修委員会認定病院取得

*施設麻醉科管理症例6874症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻醉	0
帝王切開術の麻醉	0
心臓血管手術の麻醉 （胸部大動脈手術を含む）	0
胸部外科手術の麻醉	0
脳神経外科手術の麻醉	0



昭和大学病院

〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8

(URL : <http://www.showa-u.ac.jp/SUH/>)

研修実施責任者：大嶽 浩司

専門研修指導医：大嶽 浩司 (手術・麻酔・集中治療・医療経済)

樋口 比登実 (麻酔)

信太 賢治 (麻酔・ペイン)

小谷 透 (麻酔)

三浦 倫一 (麻酔)

尾頭 希代子 (麻酔・ペイン)

上嶋 浩順 (麻酔・末梢神経ブロック)

宮下 亮一 (麻酔)

森 麻衣子 (麻酔)

稲村 ル斗 (麻酔)

小林 玲音 (麻酔・ペイン)

奥 和典 (麻酔)

田中 典子 (麻酔)

善山 栄俊 (麻酔)

野中 輝美 (麻酔)

島崎 梓 (麻酔)

木村 真也 (麻酔)

岡田 まゆみ (麻酔)

小島 三貴子 (麻酔)

特徴：・大学病院の本院のため臨床症例に非常に恵まれており、教育に力を入れている。

- ・手術麻酔のみでなく、集中治療、ペインクリニックの研修を必ず行う。
- ・外科の多くは内視鏡症例であり、特に食道手術や肝臓手術の技量が高いため、他施設にない高度な外科と麻酔科の連携を必要とした症例が経験できる。
- ・ハイブリッド手術室や手術支援ロボットダヴィンチなどの設備があり、TAVIやRALPをはじめとした最先端の症例が経験できる。
- ・末梢神経ブロックの院内認定教育プログラムを持っているなど、技術と知識が無理なく習得できる仕組みを備えている。
- ・鉄道・道路ともに交通の便がよく、周りには商店街が広がっているなど、生活のしやすい立地である。

*33 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例6679症例

	本プログラム分
小児(6歳未満)の麻酔	○
帝王切開術の麻酔	○
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	○
胸部外科手術の麻酔	○
脳神経外科手術の麻酔	○



昭和大学江東豊洲病院

〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38

(URL : <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>)

研修実施責任者：鈴木 尚志

専門研修指導医：鈴木 尚志

大塚 直樹

専門医：佐野 仁美

萩原 和歌子



特徴：1) 東京オリンピックに向け発展途上の豊洲ベイエリアに 2014 年竣工した最新の設備で臨床ができる

2) 僧帽弁に対する MICS やアカラシアに対する POEM などで、世界的な術者と仕事ができる

3) 東京湾が見渡せる大きな ICU フロアで集中治療に携わることができる

*1182 研修委員会認定病院取得

*施設麻酔科管理症例3619症例

	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	0
帝王切開術の麻酔	0
心臓血管手術の麻酔 （胸部大動脈手術を含む）	40
胸部外科手術の麻酔	0
脳神経外科手術の麻酔	0

5. 募集定員

16名

6. 専攻医の採用と問い合わせ先

① 採用方法

専攻医に応募する者は、日本専門医機構に定められた方法により、期限までに志望の研修プログラムに応募する。

② 問い合わせ先

本研修プログラムへの問い合わせは、横浜市立大学麻酔科専門研修プログラムwebsite、電話、e-mail、郵送のいずれの方法でも可能である。

横浜市立大学附属病院 麻酔科 教授

後藤隆久（ごとう たかひさ）

（秘書 西本 知美）

〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9

TEL：045-787-2918（麻酔科直通）

FAX：045-787-2916

HP：<http://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~masuika/>

Mail：anesthes@yokohama-cu.ac.jp



見学も随時受け入れております。

説明会・セミナーなどもの参加も大歓迎です！お気軽にご連絡ください。

7. 麻酔科医資格取得のために研修中に修めるべき知識・技能・態度について

① 専門研修で得られる成果（アウトカム）

麻酔科領域の専門医を目指す専攻医は、4年間の専門研修を修了することで、安全で質の高い周術期医療およびその関連分野の診療を実践し、国民の健康と福祉の増進に寄与することができるようになる。具体的には、専攻医は専門研修を通じて下記の4つの資質を修得した医師となる。

- 1) 十分な麻酔科領域、および麻酔科関連領域の専門知識と技能
- 2) 刻々と変わる臨床現場における、適切な臨床的判断能力、問題解決能力
- 3) 医の倫理に配慮し、診療を行う上での適切な態度、習慣
- 4) 常に進歩する医療・医学に則して、生涯を通じて研鑽を継続する向上心

麻酔科専門研修後には、大学院への進学やサブスペシャリティ領域の専門研修を開始する準備も整っており、専門医取得後もシームレスに次の段階に進み、個々のスキルアップを図ることが出来る。

② 麻酔科専門研修の到達目標

国民に安全な周術期医療を提供できる能力を十分に備えるために、研修期間中に別途資料麻酔科専攻医研修マニュアルに定められた専門知識、専門技能、学問的姿勢、医師としての倫理性と社会性に関する到達目標を達成する。

③ 麻酔科専門研修の経験目標

研修期間中に専門医としての十分な知識、技能、態度を備えるために、別途資料麻酔科専攻医研修マニュアルに定められた経験すべき疾患・病態、経験すべき診療・検査、経験すべき麻酔症例、学術活動の経験目標を達成する。

このうちの経験症例に関して、原則として研修プログラム外の施設での経験症例は算定できないが、地域医療の維持など特別の目的がある場合に限り、研修プログラム管理委員会が認めた認定病院において卒業臨床研修期間に経験した症例のうち、専門研修指導医が指導した症例に限っては、専門研修の経験症例数として数えることができる。

8. 専門研修方法

別途資料麻酔科専攻医研修マニュアルに定められた1) 臨床現場での学習、2) 臨床現場を離れた学習、3) 自己学習により、専門医としてふさわしい水準の知識、技能、態度を修得する。



9. 専門研修中の年次毎の知識・技能・態度の修練プロセス

専攻医は研修カリキュラムに沿って、下記のように専門研修の年次毎の知識・技能・態度の到達目標を達成する。

★専門研修 1 年目

手術麻酔に必要な基本的な手技と専門知識を修得し、ASA 1～2度の患者の通常の定時手術に対して、指導医の指導のもと、安全に周術期管理を行うことができる。

★★専門研修 2 年目

1年目で修得した技能、知識をさらに発展させ、全身状態の悪いASA 3度の患者の周術期管理やASA 1～2度の緊急手術の周術期管理を、指導医の指導のもと、安全に行うことができる。

これに加え、胸部外科手術、脳神経外科手術、帝王切開手術、心臓外科手術などを経験し、さまざまな特殊症例の周術期管理を指導医のもと、安全に行うことができる。

★★★専門研修 3 年目

小児手術を経験し、指導医のもと、安全に行うことができる。また、集中治療、救急医療など関連領域の臨床に携わり、知識・技能を修得する。

★★★★専門研修 4 年目

これまでの経験をさらに発展させ、さまざまな症例の周術期管理を安全に行うことができる。基本的にトラブルのない症例は一人で周術期管理ができるが、難易度の高い症例、緊急時などは適切に上級医をコールして、患者の安全を守ることができる。

10. 専門研修の評価（自己評価と他者評価）

① 形成的評価

- 研修実績記録：専攻医は毎研修年次末に、専攻医研修実績記録フォーマットを用いて自らの研修実績を記録する。研修実績記録は各施設の専門研修指導医に渡される。
- 専門研修指導医による評価とフィードバック：研修実績記録に基づき、専門研修指導医は各専攻医の年次ごとの知識・技能・適切な態度の修得状況を形成的評価し、研修実績および到達度評価表、指導記録フォーマットによるフィードバックを行う。研修プログラム管理委員会は、各施設における全専攻医の評価を年次ごとに集計し、専攻医の次年次以降の研修内容に反映させる。

② 総括的評価

研修プログラム管理委員会において、専門研修4年次の最終月に、専攻医研修実績フォーマット、研修実績および到達度評価表、指導記録フォーマットをもとに、研修カリキュラムに示されている評価項目と評価基準に基づいて、各専攻医が専門医にふさわしい①専門知識、②専門技能、③医師として備えるべき学問的姿勢、倫理性、社会性、適性等を修得したかを総合的に評価し、専門研修プログラムを修了するのに相応しい水準に達しているかを判定する。

11. 専門研修プログラムの修了要件

各専攻医が研修カリキュラムに定めた到達目標、経験すべき症例数を達成し、知識、技能、態度が専門医にふさわしい水準にあるかどうか修了要件である。各施設の研修実施責任者が集まる研修プログラム管理委員会において、研修期間中に行われた形成的評価、総括的評価を元に修了判定が行われる。

12. 専攻医による専門研修指導医および研修プログラムに対する評価

専攻医は、毎年次末に専門研修指導医および研修プログラムに対する評価を行い、研修プログラム管理委員会に提出する。評価を行ったことで、専攻医が不利益を被らないように、研修プログラム統括責任者は、専攻医個人を特定できないような配慮を行う義務がある。

研修プログラム統括管理者は、この評価に基づいて、すべての所属する専攻医に対する適切な研修を担保するために、自立的に研修プログラムの改善を行う義務を有する。

13. 専門研修の休止・中断、研修プログラムの移動

① 専門研修の休止

- 専攻医本人の申し出に基づき、研修プログラム管理委員会が判断を行う。
- 出産あるいは疾病などに伴う6ヶ月以内の休止は1回までは研修期間に含まれる。
- 妊娠・出産・育児・介護・長期療養・留学・大学院進学など正当な理由がある場合は、連続して2年迄休止を認めることとする。休止期間は研修期間に含まれない。研修プログラムの休止回数に制限はなく、休止期間が連続して2年を越えていなければ、それまでの研修期間はすべて認められ、通算して4年の研修期間を満たせばプログラムを修了したものとみなす。
- 2年を越えて研修プログラムを休止した場合は、それまでの研修期間は認められない。ただし、地域枠コースを卒業し医師免許を取得した者については、卒後に課せられた義務を果たすために特例扱いとし2年以上の休止を認める。

② 専門研修の中断

- 専攻医が専門研修を中断する場合は、研修プログラム管理委員会を通じて日本専門医機構の麻酔科領域研修委員会へ通知をする。
- 専門研修の中断については、専攻医が臨床研修を継続することが困難であると判断した場合、研修プログラム管理委員会から専攻医に対し専門研修の中断を勧告できる。

③ 研修プログラムの移動

- 専攻医は、やむを得ない場合、研修期間中に研修プログラムを移動することができる。その際は移動元、移動先双方の研修プログラム管理委員会を通じて、日本専門医機構の麻酔科領域研修委員会の承認を得る必要がある。麻酔科領域研修委員会は移動をしても当該専攻医が到達目標の達成が見込まれる場合にのみ移動を認める。

14. 地域医療への対応

本研修プログラムの連携施設には、神奈川県の中核病院としての横須賀共済病院、藤沢市民病院、藤沢湘南台病院、平塚共済病院、神奈川県立足柄上病院など幅広い連携施設が入っている。また、麻酔科医数が全国平均より相当程度少ない千葉県、埼玉県、静岡県にも連携施設をもつ。これらの病院の多くは充分数の指導医がいるが、指導医の少ない施設に対しては、大学から麻酔科学会専門医レベル以上の医師を定期的に派遣する。医療資源の少ない地域においても安全な手術の施行に際し、適切な知識と技量に裏付けられた麻酔診療の実施は必要不可欠であるため、専攻医は、大病院だけでなく、地域での中小規模の研修連携施設においても一定の期間は麻酔研修を行い、当該地域における麻酔診療のニーズを理解する。